

令和元年度前期 学生を対象とした授業評価アンケート結果

1. 概要

授業内容の精選・改善により本学全体の教育の質の向上を図る目的で、学生を対象とした授業評価アンケートを実施した。対象科目は令和元年度前期に開講した科目のうち、実習科目及び一部の演習科目を除いた 38 科目である。

2. 対象科目：38 科目

	1 年生(14 科目)	2 年生(13 科目)	3 年生(11 科目)
基礎科目 (10 科目)	探求の基礎 情報処理 対人コミュニケーション 人間と心理 地域の文化 暮らしの科学	英語Ⅱ 家族という社会 憲法	社会と福祉
専門基礎科目 (11 科目)	自然科学 環境生態学 生化学 形態機能学(解剖学) 形態機能学(生理学) ヘルスアセスメント	疾病治療論Ⅱ 臨床栄養学	ヘルスプロモーション論 公衆衛生学・疫学 災害援助論
専門科目 (15 科目)	看護学概論 基礎看護援助論	看護倫理 療養援助技術論 看護過程論 成人看護援助論 老年看護援助論 母性看護学概論 小児看護学概論 精神看護学概論	慢性期看護技術論 がん看護論 母性看護技術論 小児看護技術論 精神看護技術論
統合科目 (2 科目)			在宅看護学概論 リハビリテーション看護論

3. 実施方法

1) 学生を対象とした授業評価アンケート（別紙 1 の 2）

(1) 実施日時

各科目の授業最終回の終了 5 分前（期末試験の前）

(2) 内容

- ① 学生自身の取り組み（授業に臨む姿勢や態度、自己学習、授業を受けるマナーなど）4 項目
- ② 授業の内容（量、難易度、満足感など）6 項目
- ③ 授業の技法（教員の話し方、教材や板書の使い方、資料の活用など）6 項目

④ 総合評価（教員の熱意、到達目標の達成具合、授業に対する満足感など）4項目

⑤ この授業を履修してよかった点とその理由（自由記述）

⑥ この授業を履修して改善してほしい点とその理由（自由記述）

※ ①～④については4段階評定（4：はい、1：いいえ、その中間に2と3を設ける）で回答を求めた。点数が高い方が評価も高い。

※ 実施にあたり、アンケートの目的、結果は統計処理により個人の匿名性が保たれること、答えたくない内容には答えなくてもよいことを説明し、アンケートへの回答をもってこれらの内容に同意したものと判断した。また特定の教員に対して授業内容とは関係のない、批判的もしくは中傷ともとれる内容の記載が過去に見られたことから、自由記述の内容は担当教員に知らされるため、節度をもった書き方をするように説明を加えた（別紙1の1）。

(3) アンケートの配布・回答・回収はGoogle Formsで行った。

2) 授業評価アンケートに対する担当教員からの回答

(1) 方法

集計したアンケート結果と自由記述の内容を科目担当の教員に配布し、下記の内容の回答を依頼した。

(2) 回答内容（別紙2）

- ① 学生による授業評価アンケートからみた問題点・課題
- ② 受講している学生の状況と課題等
- ③ 次学期以降へ向けた取組み（改善策）
- ④ 授業評価アンケートに対する要望、意見

4. 結果

1) 授業評価アンケート

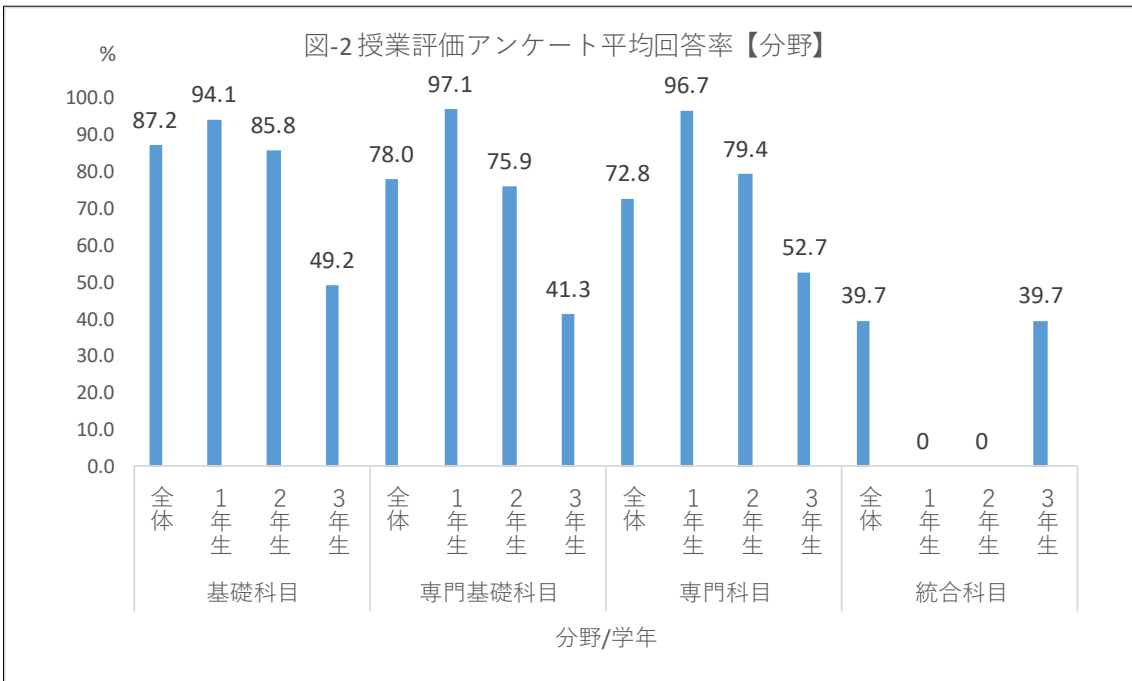
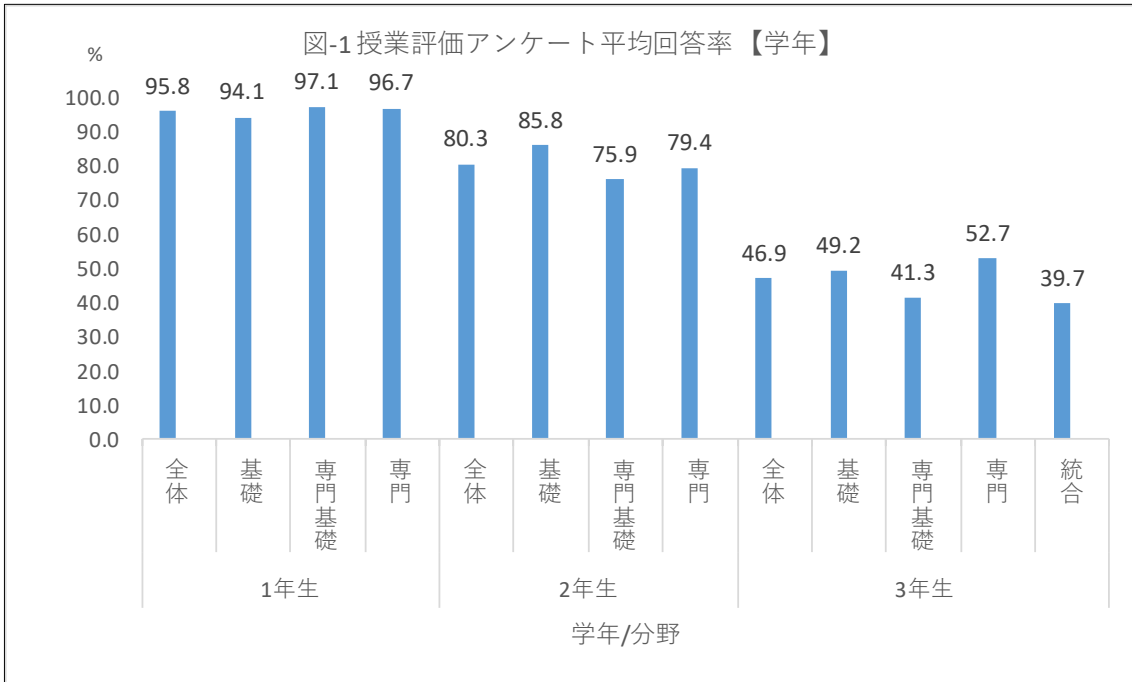
(1) 回答率

実施した38科目の回答率は28.6%～100.0%であり、全科目の平均回答率は76.3%であった。学年間の平均回答率は、1年生（14科目）が95.8%、2年生（13科目）が80.3%、3年生（11科目）が46.9%であり学年が進むにつれて回答率が低下していた（図-1）。

科目の分野別比較では、基礎科目（10科目）が87.2%、専門基礎科目（11科目）が78.0%、専門科目（15科目）が72.8%、統合科目（2科目）が39.7%であった（図-2）。

(2) 授業評価アンケートまとめ（図-3）

- ① 学生自身の取組みについて



全体の平均は 3.65 であり、科目区分では基礎科目が 3.62、専門科目と統合科目が 3.65、専門基礎科目が 3.67 であった。

構成している 4 項目を全科目平均で比較すると、予習・復習などの自己学習への取り組みが 3.50 と最も低く、意欲的に授業に参加したか、授業マナーを守れていたか、という項目が 3.74 で最も高かった。

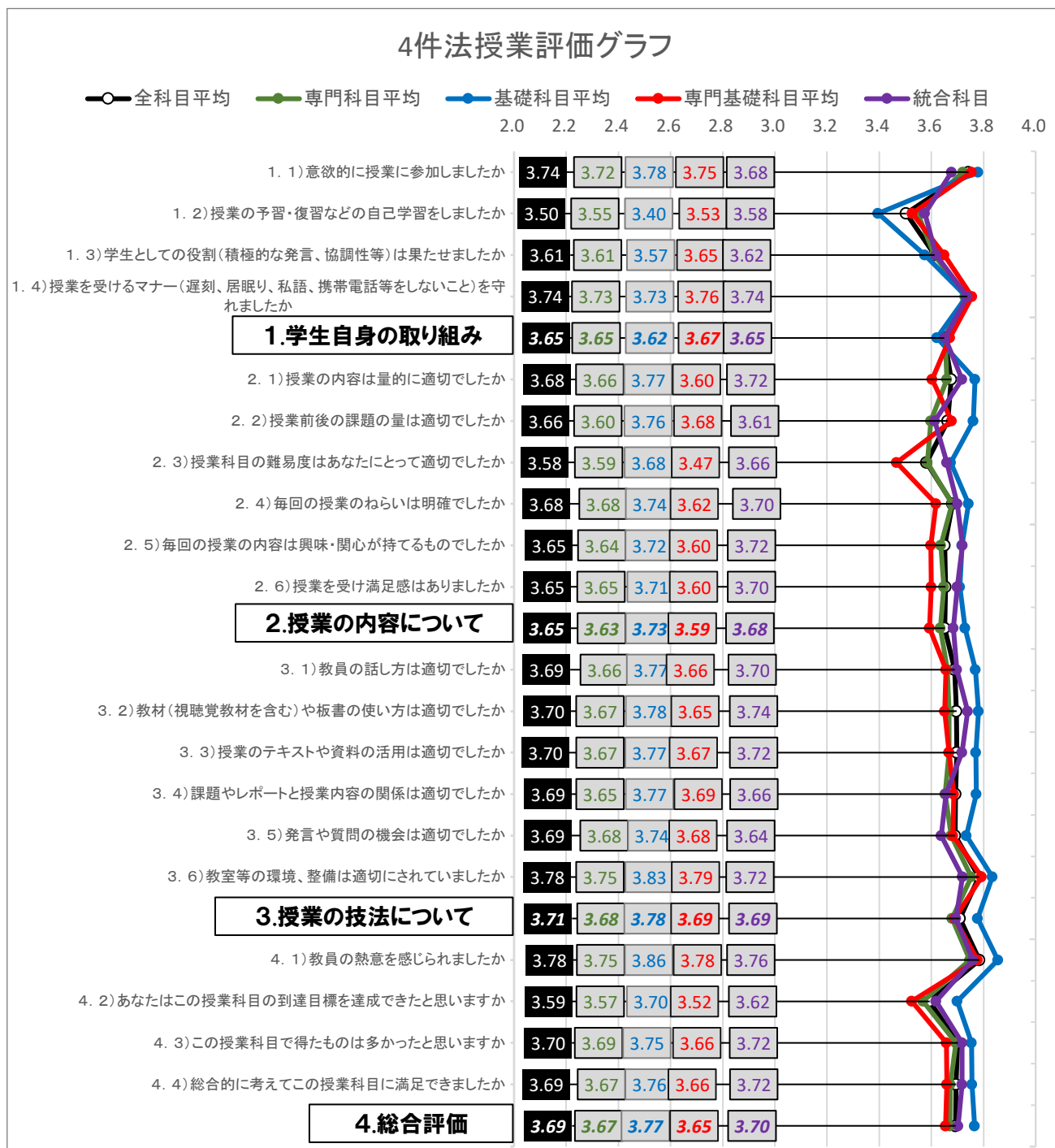
② 授業の内容について

全科目の平均は 3.65 であり、科目区分で比較すると基礎科目が 3.73、専門基

図-3 授業評価アンケートまとめ

授業評価対象科目数：38

基礎科目：10 専門基礎科目：11 専門科目：15 統合科目：2



礎科目が 3.59、専門科目が 3.63、統合科目が 3.68 であった。

構成している 6 項目中、授業の難易度が適切かに関しては最も評価が低く（全

科目平均：3.58)、4つの科目区分の比較では専門基礎科目の評価が最も低かった(3.47)。

他の5項目(授業の量、課題の量、ねらい、興味・関心をもてたか、満足感)については目立った差は認められなかった。

③ 授業の技法について

全体の平均は3.71であり、科目区分で比較すると基礎科目3.78、専門基礎科目と統合科目が3.69、専門科目3.68の順であった。

項目間の比較では、教室等の環境整備が最も高かった(全平均3.78)。

④ 総合評価

全体の平均は3.69であり、科目区分で比較すると基礎科目(3.77)、統合科目(3.70)、専門科目(3.67)、専門基礎科目(3.65)の順であった。教員の熱意に対する評価が最も高かった(全平均3.78)。

4項目の中で学生自身が到達目標を達成できたか、についての評価が最も低かった(全平均3.59)。

2) 授業改善に向けた今後の課題に対する担当教員からの回答

(1) 受講している学生の状況と課題・改善策

受講態度については、欠席者が少なく真面目で私語も少ないが、教員からの質問に対する反応が乏しく、その一方で順番に指名すると発言するという消極的な姿勢が寄せられていた。これらに対する改善策として、自発性を促すために体験的に学ぶ時間を増やしたい、能動的な授業展開を積極的に取り入れる、といった回答が寄せられていた。

また忘れ物が目立つ、遅刻や居眠りが多く注意しても改善しない、前の席の学生は熱心に聞いているが講義室の後ろの方ではスマホを操作している、他科目の課題を行っている、といった集中できていない状況もみられていた。学生からの意見として、グループ討論の際に一部の学生の私語が不快である、成績評価に反映して欲しいという報告があった。

学生の理解力については、2割ほどの学生に理解力・学力の問題がある(漢字が読めない、出された課題が理解できないなど)、必要な既修科目の知識の修得や関連づけの差が授業の理解度に現れているという意見や、予習・復習の習慣化が不足している、板書したことだけノートに書き口頭で説明したことはメモをしていない様子、などの学習習慣に対する報告もみられていた。

演習科目では、講義で得た知識を演習に活かす様子が見られないため、授業時間内での学生の技術修得度が低い現状が寄せられていた。これについては、知識と技術を結び付けられる授業計画の工夫が必要との回答があった。また指導体制につい

て、TA 不在で教員が 1 人で全学生に対応することに限界がある、という意見も寄せられていた。

電子テキストに対する意見としては、担当科目の性質上「専門用語」の正しい理解が必要であり、教科書には辞書としての意味合いがあることから、現在使っている電子テキストに対する学生の意見（評価）を確認したいという要望があった。

カリキュラムに対する意見としては、臨地実習直前までの短期間で授業を終わらせなければならない科目があり、そのため学生は過密な時間割の中で課題を行っている現状と学修成果があがるのか、といった回答もみられていた。

(2) 授業評価アンケートに対する意見・要望

本授業評価アンケートは、授業の問題点を的確に反映できているものと評価したいという意見があった。

学生からの回答率が低いことで結果の信憑性に対する疑問や、この結果をもって効果的な授業改善につながるか疑問である、回答率を上げるために学生にはアンケートの重要性を伝える必要がある、という意見もみられていた。

他にもアンケートの回答率の低迷については、授業評価の目的が学生に十分に伝わっているか、形式的になっていないか、実施方法に工夫が必要なのではないか、という意見も寄せられた。

さらに、教員が回答している内容を総括せずにそのままホームページ上に公開してはどうかという意見があった。それにより他の教員の授業の課題や工夫を知ることによって授業改善の参考になると考える、という意見が出されていた。

授業アンケートについて

本学では、授業の精選・改善を目的として各科目の最終回に授業評価アンケートを行っています。

授業内容についてどう感じたか、ご自身が授業に対してどのように取り組んだかを素直に教えてください。

このアンケートの回答は統計的に処理されます。本アンケートの回答により、個人が特定されたり、成績に関係したりすることはありません。また、本アンケートは本来の目的以外には使用しません。

自由記述欄に書かれた内容は、担当教員に伝えられます。節度を備え、授業の改善につながる建設的な意見になるようにしましょう。

【アンケートの実施方法】

アンケートは、Google Forms を用いて行います。

1. 総務課より送られたメールの URL からアンケートを開きます。
2. 各項目について4段階評価（4：はい⇔1：いいえ）の中から選択し、回答します。
3. アンケートの最後に、この授業の良かった点や改善点を記述する欄があります。今後の授業の改善のため、ご意見がありましたらお書きください。

岩手保健医療大学 総務課

授業評価アンケート

別紙1の2

【科目名: 大学で入力】【授業コード: 大学で入力】

この授業評価は、本学の授業と教育システムを改善するための参考資料となるものです。学生の皆さんからのご意見を取り入れるためにご協力をお願いします。なお、このアンケートは成績評価等には一切影響ありません。

* 教員が複数で担当している場合は概ねの状況で判断し、特記事項については自由記述欄に記入してください。

以下の質問について、あてはまると思う番号を選択してください。

1. 学生自身の取り組み	はい			いいえ
1) 意欲的に授業に参加しましたか	4	3	2	1
2) 授業の予習・復習などの自己学習をしましたか	4	3	2	1
3) 学生としての役割(積極的な発言、協調性等)は果たせましたか	4	3	2	1
4) 授業を受けるマナー(遅刻、居眠り、私語、携帯電話等をしないこと)を守れましたか	4	3	2	1
2. 授業の内容について				
1) 授業の内容は量的に適切でしたか	4	3	2	1
2) 授業前後の課題の量は適切でしたか	4	3	2	1
3) 授業科目の難易度はあなたにとって適切でしたか	4	3	2	1
4) 毎回の授業のねらいは明確でしたか	4	3	2	1
5) 毎回の授業の内容は興味・関心が持てるものでしたか	4	3	2	1
6) 授業を受け満足感がありましたか	4	3	2	1
3. 授業の技法について				
1) 教員の話し方は適切でしたか	4	3	2	1
2) 教材(視聴覚教材を含む)や板書の使い方は適切でしたか	4	3	2	1
3) 授業のテキストや資料の活用は適切でしたか	4	3	2	1
4) 課題やレポートと授業内容の関係は適切でしたか	4	3	2	1
5) 発言や質問の機会は適切でしたか	4	3	2	1
6) 教室等の環境、整備は適切にされていましたか	4	3	2	1
4. 総合評価				

1) 教員の熱意を感じられましたか	4	3	2	1
2) あなたはこの授業科目の到達目標を達成できたと思いますか	4	3	2	1
3) この授業科目で得たものは多かったと思いますか	4	3	2	1
4) 総合的に考えてこの授業科目に満足できましたか?	4	3	2	1

この授業科目を履修して、よかったと思う点を、その理由とともに書いてください。

この授業科目を履修して、今後改善してほしいと思う点を、その理由とともに書いてください。

ご協力ありがとうございました。

授業評価に対する回答票

授業科目名：	授業コード：
担当教員氏名	
開講年度・時期	平成 年度 前期・後期・通年（どれか1つを囲む）
1. 学生による授業評価アンケートからみた問題点・課題	
2. 受講している学生の状況と課題等	
3. 次学期以降へ向けた取組み（改善策）	
4. 授業評価アンケートに対するご要望、ご意見等がございましたらご記入願います	

令和 年 月 日までにご返答願います。
ご回答ありがとうございました。